義姉

結婚1年目の夏まつりの夜ー…
義理の弟に、激しく寝取られちゃいました……。

蝶花豚サークル
by 蝶花 とん美

最初に一目、見た時からヤバかった。
翔也君のお兄さんと結婚をさせてもらいます。
ふつつか者ですがよろしくお願いしますね翔也くん。
はいっチーズ！
パシャッ
もう一枚いきまーす
あの日から二年。
ドーンッ
ドーンッ
ドーンッ
ヒュ～
ヒュ～
たまやー

久しぶりの夏まつり、すごかったな。
何年ぶりかの開催だったからド派手な花火だったよな～
ホントにすごい綺麗な花火だったね～
義姉：石川（いしかわ）潮奈（しおな）（26才）
翔也君今日、泊まってくんでしょ？
う…うん
よーし、ビールで乾杯しようね！
私も、今日は飲むよー♪

月に一回ぐらい
兄貴の家で
食事させて
もらったりしてて、
泊まらせて
もらうのは
これで三度目か

あー、少し
飲み過ぎた。
俺、明日は
仕事だし、先に
もう寝るな。

うん、私も
あと少し
したら、寝るわ。

グビ。。

お風呂上がりの
潮奈姉さんは
いい匂いが
ずっと香っていて……
ノースリーブと
ショーパンという
薄着の姿が…ちょっと
…半端なかった……

翔也君
もう一本
飲める？
え、
…うん
ウフフ♪
あの人、あれだけ
お酒飲んで寝たら
絶対、朝まで
起きないからね。
私と翔也君で
二人だけの
フリータイムに
なっちゃったね～♪
ドキンッ
……
ドキッ
ドキッ
うちの兄貴
絶対って…
そんなに、起きないの？
うん
起きないよ。
もう
どれだけ
大っきい声で
呼んでも
強く
揺さぶっても
絶対に
起きないから
結婚当初は
心配しちゃった
ぐらいよ。
お…俺も…
絶対、起きないって
母さんに言われる
けど……
ムクッ
ムクッ。。。

えー
そうなんだ～？
プルン
ち…
近い…
ドキンッ
めっちゃ…
いい匂いが…
ドキッ
ドキッ

翔也君が
結婚したら、
ヤベ…
がん勃ち
してきた……

やっぱり兄弟
なんだね～
…え
うん…

それ奥さんに
言っとかなきゃ
駄目よ。
心配
しちゃう
からね
うん…
わかった。

マジでヤバい…
死ぬほど勃起
してきた……

翔也くんも
今年で大学
卒業して、
いよいよ
社会人
なんだよねー。

ぐがーっ
すぴーっ

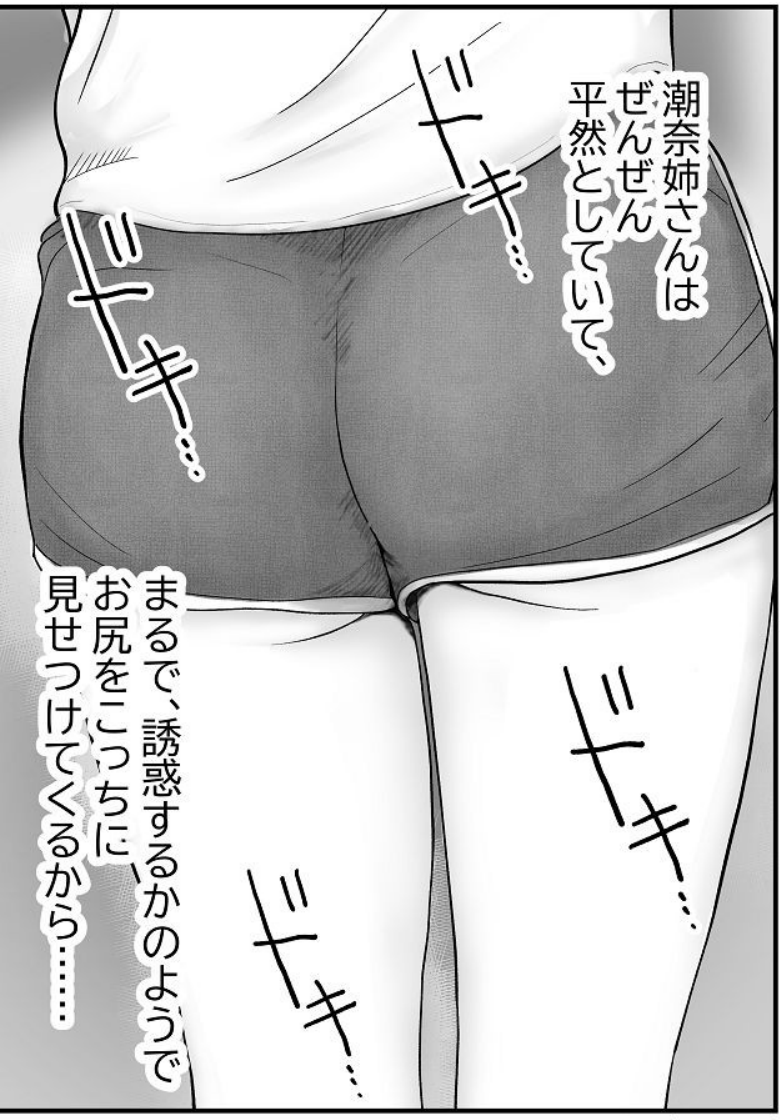
翔也君が
結婚する人と
早く会って
みたいなあ
私と仲良く
できる人だったら
いいな～♪

……
潮奈姉さんの
腋の下……
…初めて見た……

あー
もう十一時に
なるね。
そろそろ
寝よっか

わー
今日は、
星が綺麗〜
夕方
すごい雨が
降ったから
空気が
澄んでる感じ

翔也くんも
見てみるー
すごい
綺麗な星空よ〜
兄貴が
お酒を飲んで寝たら
朝まで絶対に起きない
と、聞いてから、
なんとか
平静を装うことが
出来ていたけど……
股間はもう
勃ちっぱなしで、
…痛いぐらいで…


潮奈姉さんは
ぜんぜん
平然としていて、
ミチキ…
ミチキ…
ミチキ…
ミチキ…
まるで、誘惑するかのようで
お尻をこっちに
見せつけてくるから……

ミチキ…
ブクリ…
…刹那的に…
衝動が走り……

魔が差した……
ドクン…
ドクン…
うわあ
星座も綺麗に
見えるよ～
あのすごい
輝いてる星って
カシオペアだよね。
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン…
そーっ
おとめ座って
どっちの方角
だったかな～

ズルッ
Tバック…！
ドキッ…
ドクン…
もう、抑制はきかず…
ドクン…

！！……！

あ…
ぎゅっ

ちょ…
ちょっとっ
潮奈…姉さん
お…俺…
はぁ
はぁ
はぁ
しょ…翔也君
何してるの…
だ…
駄目よっ
っ
っ
す…
ビクッ
あっ
はー…
ふー…
はー…
やめてっ
ほんとに…
やめてっ
こんなこと…
ずるっ
…！

ドサッ
…ッ！
ぐーっ
あっ
はッ
はぁ
し…潮奈…姉さん…
はッ
お…俺…
ずっ
プルンッ
あっ
チュッ
チュッ
待って翔也君…っ
いやっ
はっ…
チュッ
チュッ
チュッ
ダメぇっ
あ…
うっ…

ああっ
ちゅッ
ちゅ…
ちゅーッ
やめて
翔也君ッ
ちゅッ
ちゅ…
ちゅーッ
お願いっ
やめて
ちゅーッ
チュー
チュー
ムリ
ムリ
ああっ
ダメだってば
翔也君ッ
はッ
はッ
はッ
ほ…ほんとに
ちょっと
待ってッ
ばっ
ばっ
ばっ
ああっ
いやあッ…

はーっ
はーっ
はーっ
はーっ
…しょ…
翔也クン…
こ…こんなこと
して…
お兄さんが
起きてきたら…
大変なことになるよ。
はッ
姉さんは…
はッ
兄貴は寝たら
絶対、起きない
って…
はッ

ガバッ
いやぁッ――…！
あぁっ！
…！
待ってっ
見ないでぇ…っ
駄目っ…
ダメだってばっ
…翔也君っ…！
ちょっと
待ってっ
ああっ
潮奈…
姉さんの…
お…
オマン…コ…
はーっ

あっ
あぁーっ
やめてェ
ちゅーっ
ちゅるっ
ちゅるっ
ちゅはっ
ちゅはっ
お願い
だから…っ
ああッ…！
ベロベロ
レロレロ
ダメっ
駄目だったらっ
ジュルジュル
翔也君っ
ジュルッジュル
あっ
チュッ
はっ
ジュッジュッ
いやぁっ
ジュッジュッ
は…ああっ
はー…
はー…
はー…

はッ
はッ
はッ
はッ
ふッ…
ぐっ
んぅっ
ーンッ…！
ギュッ
ギュッ…
ん…
フッ…
ンンーっ…

……!!
……!!
う…
…嘘でしょ……
ビーンッ
ビーンッ
……っ！
…えっ……
潮奈
姉さん…
…俺…もう
はぁ
はぁ
ちょ…
ちょっと待って！
翔也君…っ
ばたっ
ばたっ
ばたっ
ばたっ
ああっ
待ってっ
だめっ
ダメだってば
翔也君ん…ッ

ああッ
ダメェッ！
お願いっ
はーっ
ふーっ
はーっ
こっ
これ以上っ…
やめてッ
ズボ
う―…ッ！

あっ
あぁあっ
しょ…
翔也クンーっ
うっ
んうっ…
は…っ
あぁあーっ
あぅっ
ん…ッ
ぅッ…
うっ…
んっ…ン
うっ
はっ…
…ンっ

はッ
はッ
はッ
あ…っ
ああっ
潮奈姉さんに
初めて会った日を
ずっと、忘れられなかった……
こんな素敵な人が
兄貴の奥さんに
なるなんて……
そして…あの時の
潮奈姉さんの
白いウェディング
ドレス姿……
兄貴が
羨ましくて…
嫉妬さえ覚えていた……

あぁっ
やっ
バスッ
バスッ
バスッ
ん…ッ
あぁあッ
ああっ…
うッ…
…んぅ…ッ
や…ヤバい…！
す…すごい…っ
奥まで…
来る…っ！
ど…
どうして…！
こ…こんなにっ…
お…同じ兄弟…
なのに…っ
ああっ
あ…あの人と
ぜんぜん、違う…っ
すちゅ
すちゅ
すちゅ

あうっ…
うっ…
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
は…激し…っ！
や…ヤバい……
…も…もうっ…！
あぅうっ
ブヂュ
ビヂュッ
あぁあっ
はっ
すぐ…
イっ…ちゃう…
かも……
あっ
あっ…
う…っ
だ…だめっ…
…もう…イク…！
うっ…
あっ
うっ…
うっ…

ドチュッ
ドチュッ
ドチュッ
ドチュッ
あァあー…ッ！
…いくッ…！
バチュッ
バチュッ
バチュッ
バチュッ
あぁあ…っ
あっ
…う…
待ってっ
も…
もうっ、ダメぇッ…

ズボッ
ズブッ
また…イっちゃう…
…うっ…
いやッ
だ…だめ…！
ズボッ
ズブッ
…あ…あ…っ
ガクガク
ガクガク
いやぁ…ッ
…あ…あ…っ
うっ…！
ああッ…
ガクンッ
ガクンッ
ガクンッ
し…潮奈っ
姉さんッ…！
ああッ…
お…俺も…
イキそ…ぅ！
…う…ッ！
いく…ッ
あぁあ…っ
いく…

ああッ…
出る…ッ…！
ズボッ
ガク
ガク
ガク
ぴゅっ
ぴゅっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
クパッ
クパッ
クパッ
！…！
あ…
うッ…

あぁッ…！
――…ッ！
ガタッ
ヒィ
ヒィ
ヒィ

はーーっ
ふぅーーー
はーーっ
プルプル

グガーーっ
すぴーっ
グガーーっ
すぴーっ

…まさか…今夜……
こんなことになるなんて……
夢にも思っていなかったけど……
じつは……私は……
ふぅ…ーっ
ふぅ…ーっ
ふぅ…ーっ
プルプル
プルプル
プルプル

はっ…
はっ…
はっ…
はっ…
はっ…
はっ…
はっ…
義理の弟に…
激しく、やられちゃう……

はっ…
……そんな
禁断の…セックスを……
一人で妄想して……
はっ…
はっ…
は…
はっ…
何度となく……
オナニーしちゃってた
…ことが…あったのです……。

こんなこと…って……
…絶対…ヤバいのに……
罪悪感と…
…異様な興奮と…
恍惚にくるまれて……
…震えが…
止まらない……
プルプル
プルプル
そして……
翔也君との
タブーな行為は……
一度で終わることはなく……

その後(あと)…
後ろからも
激しく、されちゃって……
すごい…何度も
イっちゃって……
あッ
あッ
あ――ァァ…ッ
こんなこと……
一晩だけの過ち…
と、思っていたのに……

私と…翔也君の
…禁断は破かれて……
月日を追って
どんどん…エスカレート
していっちゃうのです……

差花のヒップ
継母ママ
若くて、美しい継母ママと
アブノーマルな肉交プレイを
求め合う…濃厚な…
―近親相姦の物語―
ママのお尻を…いじめたくて
しようがない―…
寝室に忍んで
下着ケースで
見つけた…
セクシーな
紐のパンティ…
大人の玩具…
最初は
パパの趣味だ
と思った…
だから
僕を生んだママに
逃げられたのだ
そう信じて
疑わなかった

僕のママは
年の差が十歳も
ない若さだ
名前は
莉乃(りの)
…❤
二年前に
パパが再婚して…
スーッ
こんな素敵な
継母をもった
僕は…
勉強なんか
手につく
はずもなく…
ツ
ゃ
ノ
ッ
大学受験に
失敗した…
そして
今は予備校に
通っている
ゴソ
ゴソ

予備校生になった今も…
勉強になど集中できず…
むん
ドクン
毎日…ママのことばかり考えている…
んぅん…
…ママは今日も…
こんなに…パンティに染みつけて…
甘酸っぱい匂い嗅がせて…
ふ…っ
…んぅ…
なんてエッチな女なんだ…っ

ドピュ
ドピュ
そんな
ママは…
パパが出張して
家にいない夜は
いつも…
風呂から
上がってすぐに
優美な瞳が
トロンと
なるほど
ワインを飲んで
ほろよい…
そして…
普段はあまり
お酒を飲まない
せいか
私…少し
酔っちゃった…
さきに
休むわね…
頬を赤く
色めかせて
すぐに寝室へ…
それから…三十分も
しないうちに…
あ…
寝室のドアの
隙間から…
あ…っ
あ…
舌ったるい
甘い泣き声が
聞こえてきて…

暗いベッドの上で…
あ…
ハァ
あ…っ
いや…
ハァ
クチョ
クチュ
クチョ
信じられない姿を
さらけ出して
くれる――…

普段は品があって
すっごい清楚な…
あの継母ママとは
まるで別人のように――…

ねえ…
あなたぁ
…❤
早く…ぅ
早く…
莉乃を
可愛がって…っ
これ以上…
焦らさ
ないでぇ
私…
もう…っ
…我慢
できない
…のぉ…
お願い
…っ
いつも
みたいに…っ
莉乃を
いじめて…っ
恥ずかしい
ことして
…❤
いっぱい
感じさせて…ぇ
…
クチュ
クチョ
ハァ

もう…
莉乃は待ちきれないの…ぉ…
あ…
あ…っ
早く…ぅ
ねぇ…お願い
もう…
これ以上ジラされたら…
私…
おかしくなっちゃう…ぅ

僕は…
知っていた

再婚して
一年ぐらい
過ぎた頃…

ママが家に
いない時に

寝室に忍んで
下着ケースで
見つけた…

セクシーな
紐のパンティ…

さらに…
クローゼットの
引き出しの
ずっと奥の方に…

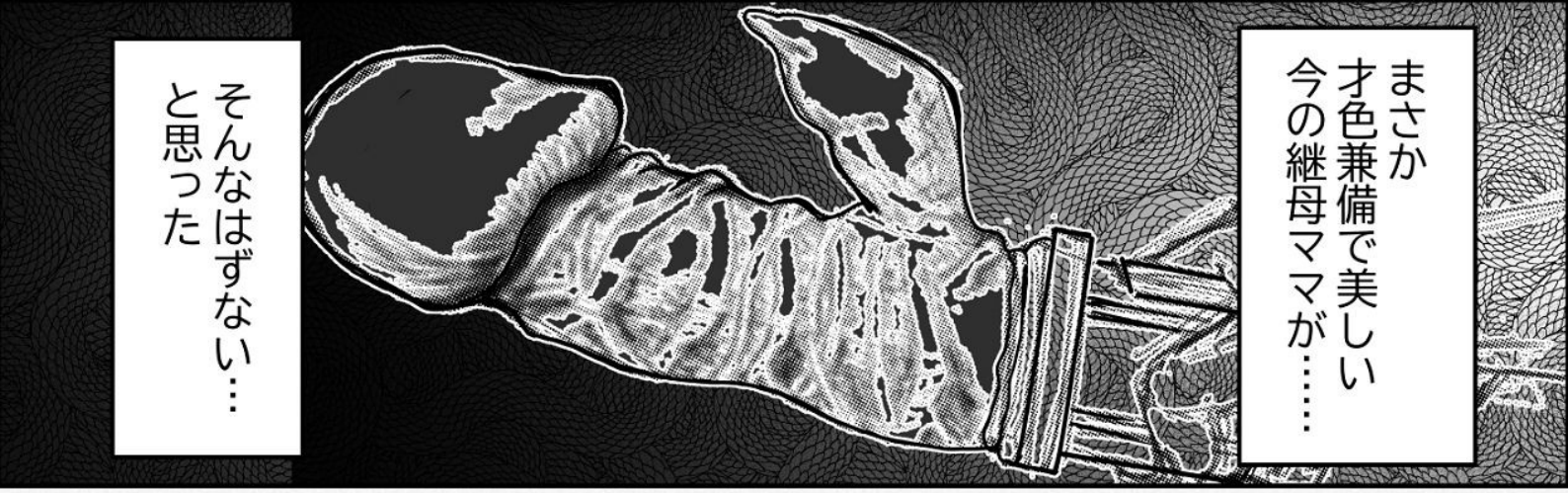
箱詰めで
秘めやかに
隠してあった…

大人の玩具…

最初は
パパの趣味だ
と思った…

だから
僕を生んだママに
逃げられたのだ

そう信じて
疑わなかった



どれだけ
才女で…
美人の妻でも…

貞淑とか
清楚さという
仮面をかぶって…

日常生活を
送っている
女性もいるのだ…

僕の継母ママは…

とんでもない…スケベで…
アブノーマルな…セックスが好きなM女だったのだ――…
あ…あ…莉乃を…は…早く…
メチャクチャに…して…うんと恥ずかしめてェ…

パパが出張でいない夜なんか…
あ…っ
まるで別人のようにスケベの本性さらけ出してオナニーもする…
あ…
ああああ…莉乃…もう…
そんな継母ママだった…
クチ
クチョ
クチュ

ある日の夜だった…

僕は…ワインで
酔いすぎた
ママの蜜匂に
吸い寄せられる
ように…

ベッドの上に
引き込まれ

そして
寝乱れて…

ついには
肉交に誘われて
近親相姦―…

継母ママと
禁断の関係を
結んでしまった……

そして…
その関係は
今でも続いている…

ビーン

だけど
その関係には
暗黙のルールが
ある…

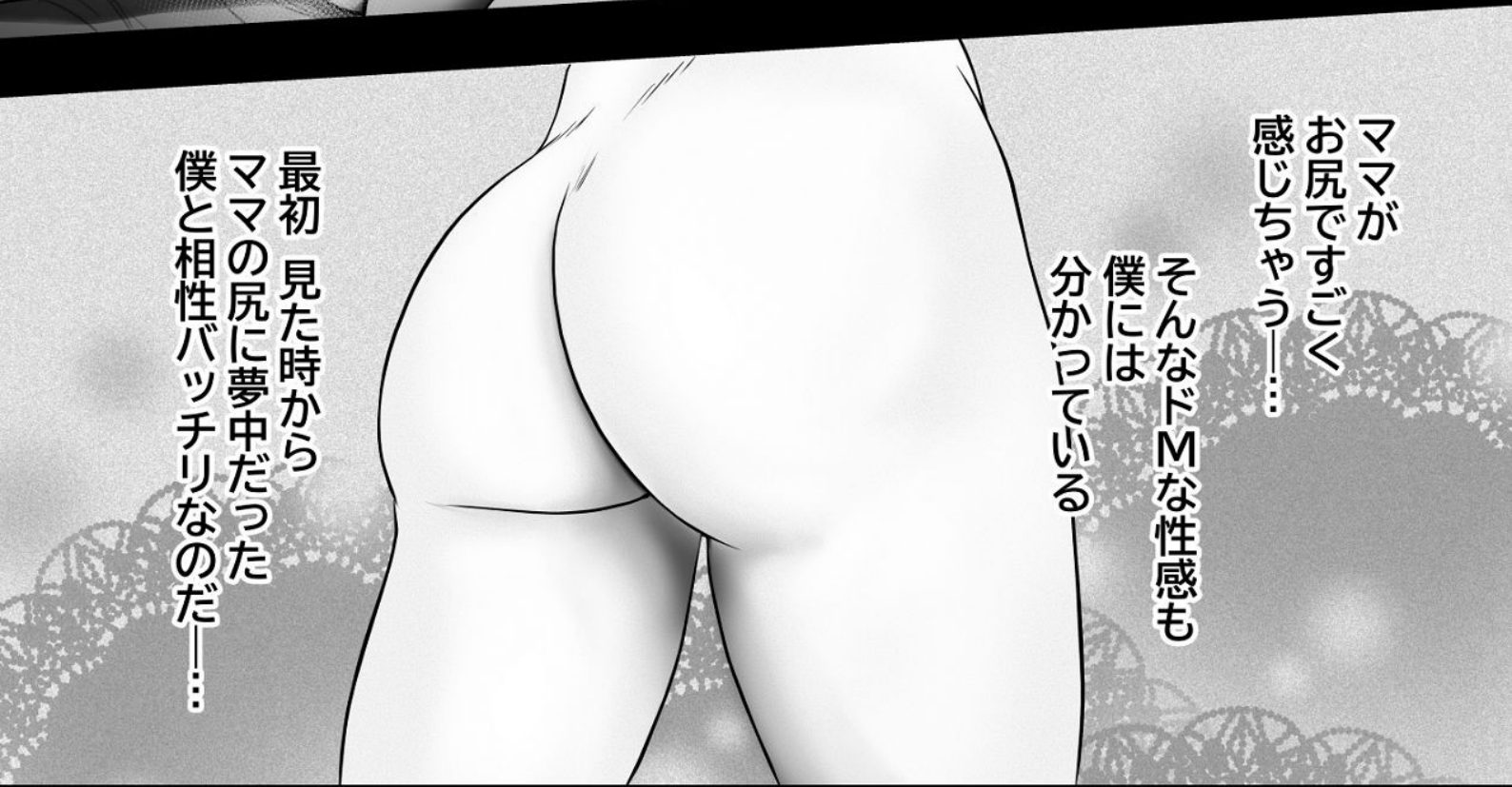
それは
僕は…僕じゃなく

僕は…パパに
成りすまして

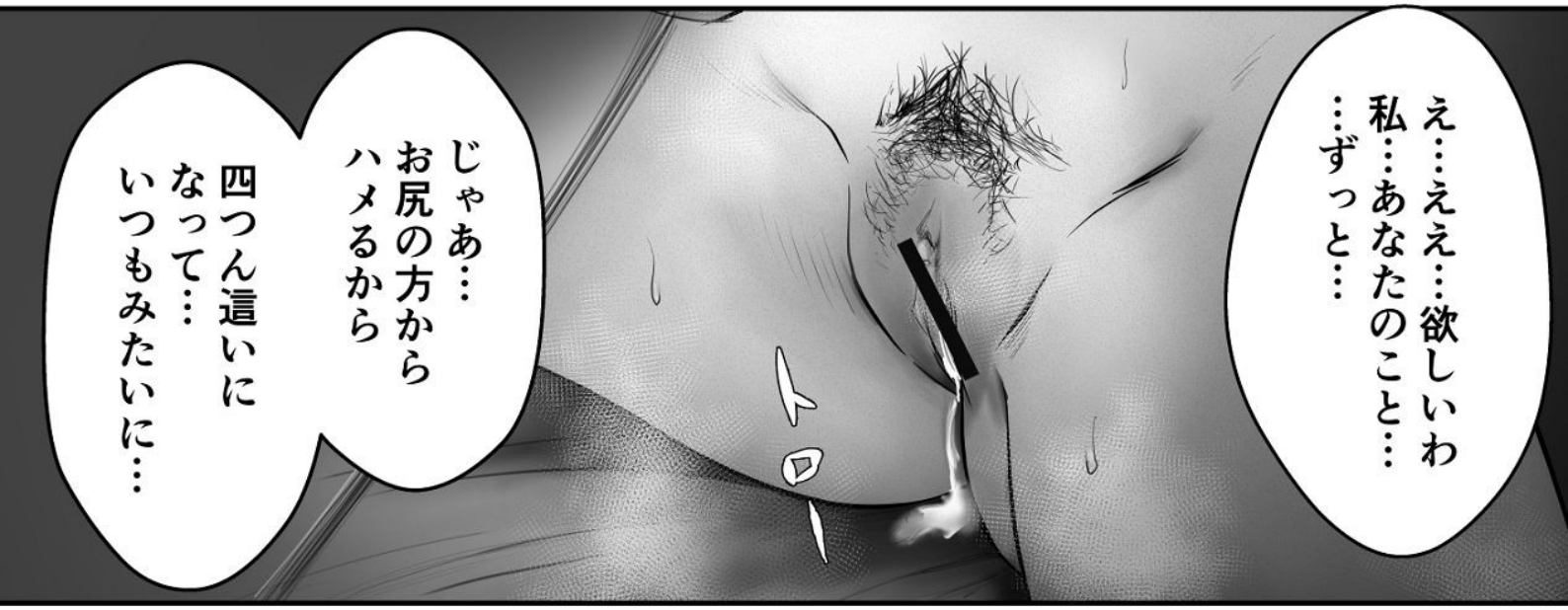
ママとプレイ
するという
ルールだ

ああ…っ
待ってたわ
あなた…ァ
そんなに
待ってたの？
そうよ
…ずっと
待ってて
わたし
もう…ォ…

ビチャビチャ
音立ててマンコ
いじってたもんね…
ああ…
そんな…ァ
僕とママとの
禁忌の関係はもう
けっこう
エスカレート
していて…


ママが
お尻ですごく
感じちゃう――…
そんなドMな性感も
僕には
分かっている――
最初　見た時から
ママの尻に夢中だった
僕と相性バッチリなのだ――…

ああ…ママの唇…
柔らかい肉体
…たまんない…
ママ…
もう…僕のチンポが
欲しくて
たまんないでしょ…


え…ええ…欲しいわ
私…あなたのこと…
…ずっと…
じゃあ…
お尻の方から
ハメるから
四つん這いに
なって…
いつもみたいに…
トロー

僕のチンポを
おねだりして…
……はい…
…あなた…
ワォーン
ワン
ワン

…あ…ああ…
ち…ちょうだい
…は…早く…
り…莉乃の…
おマ〇コに…
あなたの
すごく…固くて
大っきくて…
とっても素敵な
おチ〇ポ…
莉乃はもう
欲しくて…
たまらないの…

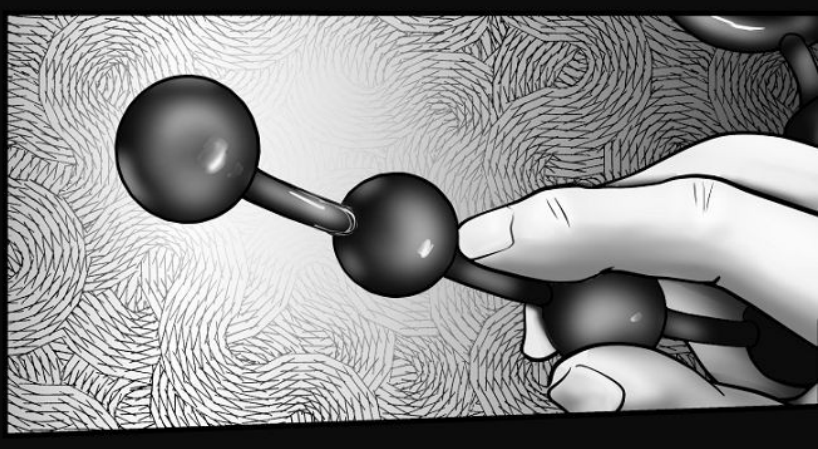
二穴プレイが好きな
変態ドMのママは…

あ…っ

いや…っ

アアァ…ッ

お尻も同時に
いじめると
もっと乱れ始める…



……ッ
…あ…！
あなた…ッ
そ…そこはっ
だめよ…ッ！
そこは
ダメとか
言っても…
莉乃が自分で
使ってる肛門
オナグッズだし
ズブッ
ズブッ
ズブッ
……っ
…や…ッ
イヤァ…
あなた…ッ
や…ッ
ひ…ッ
あ…ッ
ブルッ
ブルッ
ブルッ

う…あ…っ
ママのお尻
いじったら…
やっぱ…
オマ〇コが
めっちゃ締まってっ
ネットリ
からみついて
くる…っ
ヤバい…
気持ちいい…っ
ああ…
ママのオマ〇コ…っ
たまんない…
いや…っ
アア…っ
あ…っ
もう…ヤバい
…駄目
で…出そう…っ
ア…っ

う…っ…
…出る…ッ
う…う…っ
…駄目だ…ッ
出る…ッ！
ズンッ
ドピュ
……ッ
…あッ…
ドピュ
ドピュ
……ッ
…あ…
あ……んッ
…ッ…！

はあ…あ
ビクビク
あう…
う…っ
ドププ
ママとの禁断セックスはいつも…
ア…っ
ア…ッ
抜かず三発…四発は…射精している

もし妊娠してもパパと同じDNAなのだから…
継母ママは何発中出しされたってオッケーなのだ――…
アアッ…
ア…っ…アッ…
あなた…っ…そんな…
激しくしたらッ…わ…私…ッ

アア…ッ…
い…イっく…
イクぅ…ッ
ィやあ…ッ
…ア…ハァッ
アアァ…
アアァ…ンッ

僕を食い締めるママのお尻は…

プルプルと痙攣してすごく心地いい…

ズル
ズル
ママがこんなふうにお尻イジくられて…
涎まで垂らしながらイっちゃうなんて…
パパは知ってるんだろうか？
ママがお尻いじめられるの好きだってこと……
ヌポンッ
普段の姿からは誰も想像つかないだろう…
う…ッ
や…ッ
あ…あなた…っ
待って…
そ…そこは…
……
お尻よ…っ
だ…ダメよ…
あなた…っ
待ってェ…ッ

ひ…っ…ッ
……ッ
あっ…
…あなたァ…ッ！
あ……ッ
…や…ッ
あぁアア…ッ
イヤ…お尻は
やめてェ…
だめぇ…ッ
そこ…アッ
ダメとか言って
莉乃は…
好きなくせに
ギュウ
……ッ
ア…っ

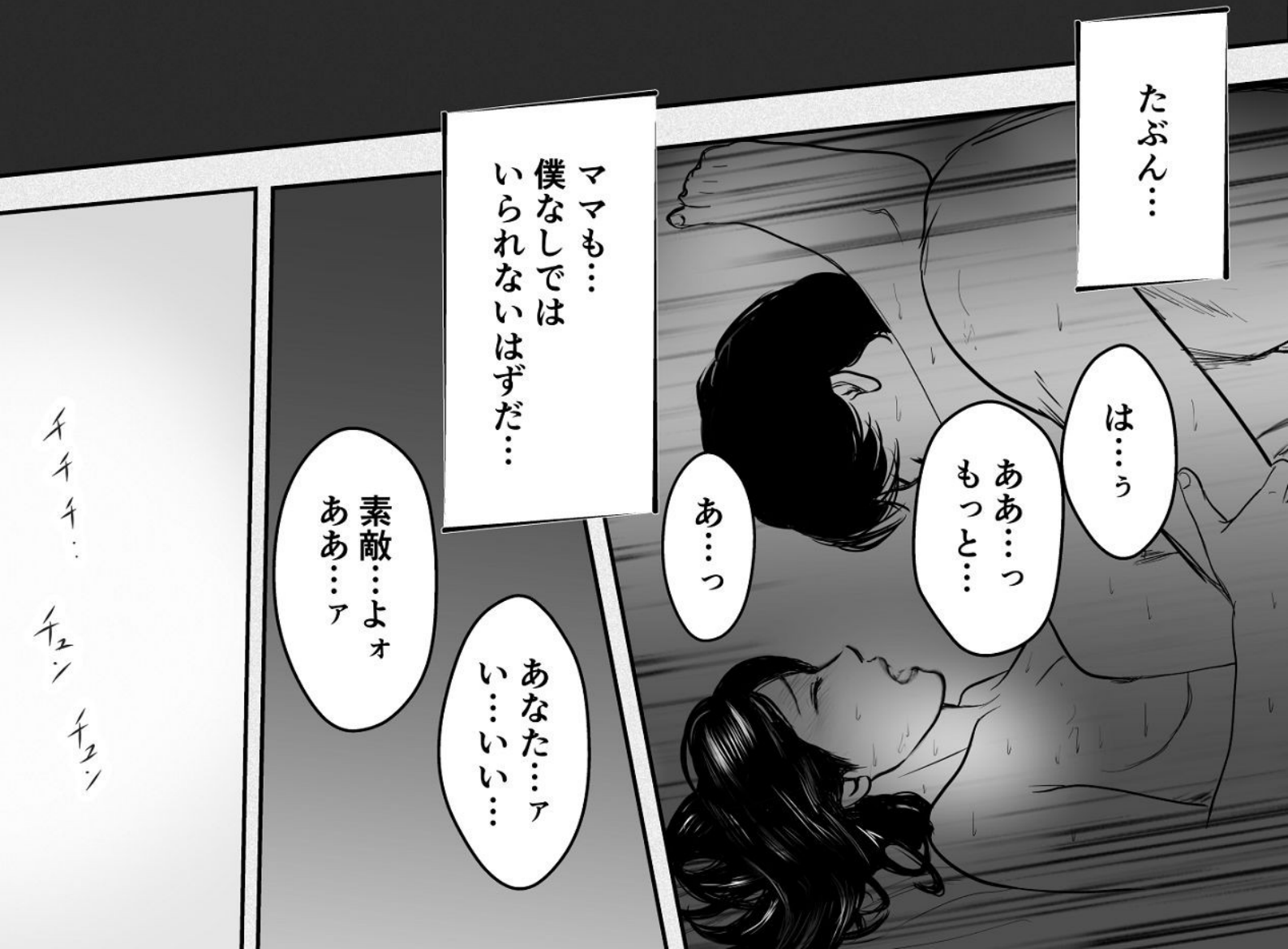
根元まで
いくよ…っ
アア…ッアアア…ッ
いやァッ
イヤァ…ッ
ひ…ッ
…い…！

はっ…あア…っ！
は…っ
…あ…っ！
イヤ…っ
あ…んッ…ッ
うっ！
ヤア…っ
…アあァアァ…ッ
あァ…
アアァ…ッ
いやいや
言いながら
莉乃は…
肛門攻めが…
いちばん
好きでしょ
や…
…いや…
あッ…

答えないと
チンポ抜いて
やめちゃうよ
アアッ…あ…ッ
いや…
好き…っ！
好きよ…ッ
ああ…ッ
…いぃ…っ
莉乃は…ッ！
また…すぐ
イキそう…ッ
…あっ…あ…
ああッ…
…ダメぇッ
ま…また…
…い…くっ
イクぅ…

い…っ
…くう…ッ
ハ…ッ
ハ…アア…ンッ！
ブルブル
ブルブル
ブルブル
ブルブル
ヤ
ピュッ
ピュッ

僕は…もう
ママなしでは
いられない…



ミーン
ミーン
トン
トン
トン
ママ
おはよう…
カラ
あら…
今日は早起きね
おはよう―♪
ポッ
私…夕べ
飲み過ぎちゃった
のかしら…
お風呂入って
ワインを
飲んだ後…
何も覚えて
ないのよ…❤
パパの出張は
明日まで
だったよね…
そうよ―♪
トン
トン
トン
今日もママは
ワインを飲むのかな…

もし…今日も
ママがワインを
飲んだら…
今夜は
浣腸プレイ
しようかな…
ママがすっごい
声をあげて泣いて
悦んじゃう…
大っきな浣腸器を使って
朝までママを
いじめちゃおう―♪